キル。ソシテ職工ノ不注意カラ起ル最初ノ小サナ缺點ヲ除キ非常ニ良イ結果ヲ得テキル。機能的見地カラ見テモコノ有骨義齒 (Skeleta-Prothese) ハ同様ニ良キ役目ヲハタシテキル。コノ義齒ハ眞ニ齒科醫ニ大ナル満足ヲモツテ迎ヘラレルバカリデナク患者モ又今迄ノ煩ハシキ口蓋義齒 (Gaumen-platte) カラ正シク脱セラレルノデ喜バレテキル。(金香正治)

矯 正 科

下顎骨及齒牙ノ發育ニ關スル實驗的研究

Experimentelle Untersuchungen über das Wachstum des
Unterkiefers und der Zähne.

von F. Proell u. R. Wyrwoll, Greifswald.

(D. Z. Mn. K. 1934. Heft 2. p. 81)

下顎骨ノ發育方法ガ添加性 (appositionell) デアルカ、又ハ間質性 (interstitiell) デアルカト云フ問題ハ既ニ 18 世紀頃ヨリ Belchier, Du. Hamel, Hunter, Flonrens 等色々ノ學者ニヨリテ研究サレタ。通常管狀骨竝ビニ扁平骨等ノ發育方法ガ純添加性發育デアルト云ハレテ居ツタガ、Thoma 氏等ハ間質性ニモ亦發育スルト述ベテアル。下顎骨ニ就テコレヲ考ヘレバ、其ノ發育方法ガ添加性デアルカ又ハ間質性デアルカト云フ事ハ未ダ明カデナイ。果シテ一般ノ骨發育ノ方法ガ下顎骨發育ノ場合ニ直チニ適用サレルカドウカ、又ハ下顎骨ニ於ケル齒芽ノ存在ガ顎發育ニ如何ナル影響ヲ與ヘルカ等ノ問題ガ多クノ學者ニヨリテ論議セラレテ居ル。其所デ著者ハ嘗テ Du Hamel ガ管狀骨發育方法ノ研究ノ際用キタ「Markiermethode」ヲ應用シテ、下顎骨ノ發育方法ヲ研究シ且ツ齒牙ノ發育ニ關スル意見ヲ述ベテ居ル。コノ「Markiermethode」トハ如何ナル方法カト云フト金或ハ「ウェブラ」等ノ金屬デ鋏ノ如キモノヲ作り、下顎骨ニ「バー」デ穴ヲアケ其所ヘ此ノ鋏ヲ插入シテ其後ノ經過ヲ「レントゲン」ヲ用ヒテ觀察ヲシタノデアル。實驗動物トシテハ 8 匹ノ犬ヲ用ヒ、コノ内 7 匹ニツイテ簡單ニソノ所見ヲ述ベテ居ル。第一實驗ニ於テハ左下顎下縁ニ三ツノ鋏ヲ入レタガ手術後下顎骨ノ發育ニ伴フテ、各鋏ノ周圍ニ骨ノ添加ガ認メラレタガ各鋏ノ位置ハ變化シナカツタ。第二實驗ニ於テハ骨ノ添加ガ下顎下縁ニ於テ最も多ク、前方ニ行クニ從ツテ減少シテ居ル状態ヲ「レントゲン」像ニ依リテ認メル事ガ出來タ。第三實驗トシテ左下第一大臼齒ノ齒芽ヲ除去シテ、ソノ部ノ骨ノ發育状態ヲ對照側ト比較シタノデアルガ、其ノ發育状態ハ一見不良ノ様ニ見エルガ精細ニ検査スルト各鋏ノ位置ハ對照側ノモノト殆ンド變化ガナイ事ガワカツタ。發育ガ不充分ニ見エタノハ齒芽ノ除去ニヨリテ齒槽突起ガ缺如シテアルノト、齒芽ガ存在シナイ爲ニ機能障礙ヲ受ケテ骨ノ添加ガ充分行ハレナカツタタメノ様ニ思ハレル。併シ下顎骨ノ矢狀發育 (Langenwachstum) ニハ殆ンド影響ナカツタ。第五實驗デハ犬ノ乳齒穹ノ側方竝ビニ前齒部ニ鋏ヲ入レテ實驗ヲ行ツタ。犬齒ノ頰側竝ビニ其ノ遠心ニ入レタ鋏ノ位置ハ變化シナカツタガ、其後永久齒列ニナツテカラ前齒部ノ鋏ノ位置ガ變化シテキタ。ソレハ恐ラク永久齒ノ發育ニヨル影響

デアルト思ハレル。著者ハ以上ノ様ナ實驗ノ基礎トシテ次ノ様ナ結論ヲ述ベテ居ル。鈹トシテハ「ウヰブラ」製ノ鈹ガ一番良好ノヤウデアル、コレハ骨組織ニ使用シテモ何等障礙ガ無イ様デアル。實驗ニ用ヒタ鈹ハ31個デアアルガソノ内2個ダケ骨カラ落チテ骨膜ニヒツカ、ツテ居ツタ。鈹ハ下顎骨ノ後方ニユクニ從ツテ次第ニ深部ニ存在スルヤウニナリ最モ甚シイ場合ハ下顎骨ニ接觸シテ居ツタ、コレハ明ニコノ部ノ添加性發育ガ旺盛ナ事ヲ證明スルモノデアアル。此ノ實驗ニヨレバ下顎骨ノ發育方法ノ添加性發育ガ主デアリ間質性發育ハ極メテ少クナイト云ヘル。尙著者ハコノ實驗ニ依リテ、嘗テ Orban ガ發表シタ齒芽ノ發育ニ關スル學說ヲ實證シ得タト述ベテラル。即チ齒芽ノ發育過程中ニ Epithelleiste ハ深部ニ向テ發育ハシナイデ、齒牙ハ顎骨ノ發育ト共ニ咬合面ニ向ツテ移動シ、コノ際 Hertwigsche Epithelscheide ハ齒牙形成ノ固定點ト考ヘラレルモノデアアル。(對木桂次)

基礎醫學

上總守谷洞窟發掘ノ牛ノ下顎骨

直良 信夫

(科學第五卷第一號)

大正13年秋上總守谷洞窟ヨリ發掘サレタ獸骨ノ中ニ牛ノ立派ナ右側下顎骨ガアツタ。此ノ標本ニヨリ日本産牛ノ遺齒、遺骨ニ對スル古生物學的研究ヲナサントスルモノデアアル。現棲ノ和牛類トノ比較上異色ト見ル可キ點ハ P_3 , P_4 ノ内側面ノ前後兩葉谷ノ前葉壁ニヨツタ所ニ1個ノ補足錐ノ存立スルコトデアアル。此ノ特色ハ現棲ノ和牛ニハ餘リ見ラレナイ點デアアル。尙此ノ守谷洞窟發掘ノ牛ノ下顎骨ニツイテノ詳細ナル古生物學的研究ハ不日發表サレルサウデアアル。

(中澤勇)